

令和2年12月期 決算説明資料

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

令和3年2月15日

株式会社トーア紡コーポレーション

東京証券取引所 市場第一部

証券コード：3204

目次

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 令和2年12月期 通期実績 | P. 3 ~ 14 |
| 2. アフター（ウィズ）コロナの事業環境 | P. 15 |
| 3. 令和3年12月期 通期実績予想 | P. 16 ~ 17 |

令和2年12月期 連結決算概要

(金額：百万円)	実績			前年同期比 増減率
	平成30年12月期	令和元年12月期	令和2年12月期	
売上高	19,374	18,669	14,752	△21.0%
営業利益	371	390	270	△30.7%
営業利益率	1.9%	2.1%	1.8%	△0.3ポイント
経常利益	335	351	297	△15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	248	165	184	10.9%

新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅減収となるも、経費削減等により最終黒字は確保

- ▶ 中国では現地企業の活動が一時停止、中国市場での販売が大幅に減少
- ▶ 国内においても、特に衣料事業、インテリア産業資材事業の売上が大幅に減少し、一部工場では休業を余儀なくされる

セグメント別業績概要

TOABO

100周年に向かうトア紡グループ

(金額：百万円)	実績									前年同期比増減率		
	平成30年12月期			令和元年12月期			令和2年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	8,235	17	0.2%	7,717	80	1.0%	5,349	68	1.3%	△30.7%	△15.0%	0.3ポイント
インテリア産業資材事業	7,055	170	2.4%	7,018	188	2.7%	5,608	19	0.4%	△20.1%	△89.6%	△2.3ポイント
エレクトロニクス事業	1,946	29	1.5%	1,726	12	0.7%	1,617	9	0.6%	△6.3%	△22.5%	△0.1ポイント
ファインケミカル事業	1,024	131	12.8%	1,174	149	12.8%	980	61	6.3%	△16.5%	△58.7%	△6.5ポイント
不動産事業	750	453	60.4%	765	482	63.0%	848	530	62.5%	10.8%	10.0%	△0.5ポイント
その他	362	△54	—	267	△65	—	348	△7	—	30.2%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△375	—	—	△457	—	—	△411	—	—	—	—
合計	19,374	371	1.9%	18,669	390	2.1%	14,752	270	1.8%	△21.0%	△30.7%	△0.3ポイント

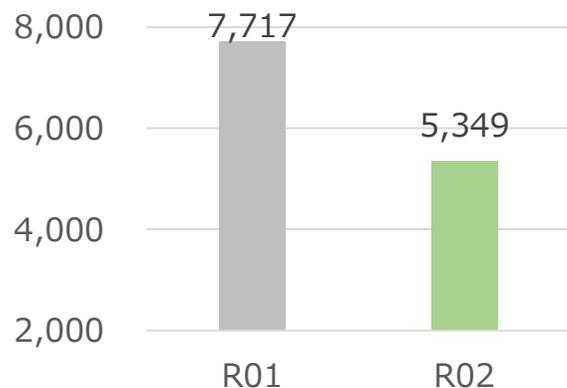
衣料事業

TOABO

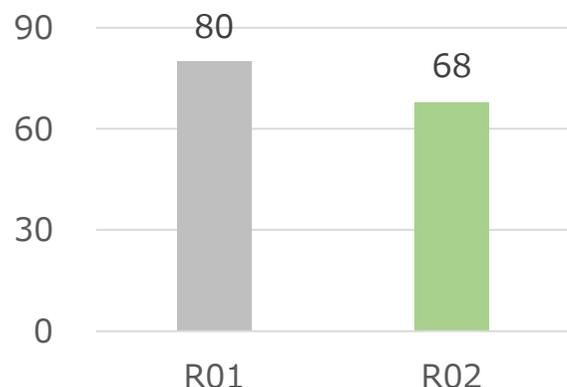
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	5,349百万円	30.7%減
営業利益	68百万円	15.0%減
営業利益率	1.3%	0.3ポイント増

業績概要

▶ 毛糸部門

新型コロナウイルスの影響により市況の冷え込みが長期化
婦人セーター向けニット糸、一般スーツ向け織糸の受注が
落ち込み大幅減収

▶ ユニフォーム部門

スクール向けは休校の影響によりニット製品、夏物素材の
需要が減り減収となるも、価格改定実施により増益
企業向けは新規案件獲得件数や追加発注が減少し減収
官公庁向けは制服調達予算削減により受注が減り減収

▶ テキスタイル部門

郊外量販店の一時休業や店舗閉鎖、商談停止などの影響
を受け大幅減収

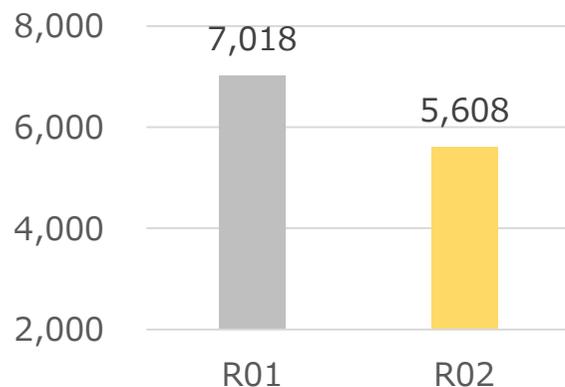
インテリア産業資材事業

TOABO

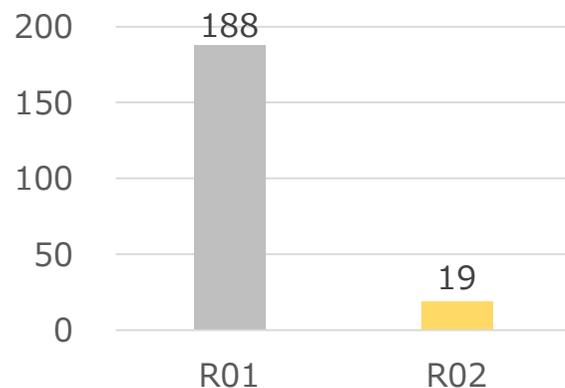
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	5,608百万円	20.1%減
営業利益	19百万円	89.6%減
営業利益率	0.4%	2.3ポイント減

業績概要

- ▶ ポリプロファイバー部門
自動車内装材用原綿は回復しつつも、カーペット用原綿が回復に至らず減収減益
- ▶ カーペット部門
ホテル、オフィス、ダストコントロールマット用途の需要が減少し減収減益
- ▶ 不織布部門
緑化資材・防草資材、土木関連、寝装関連とも堅調で増益
- ▶ 特殊繊維部門
海外市況が冷え込み、引き続き低調で減収
- ▶ 自動車内装材部門
6月から生産が回復したものの、前半の減産が響き減収減益

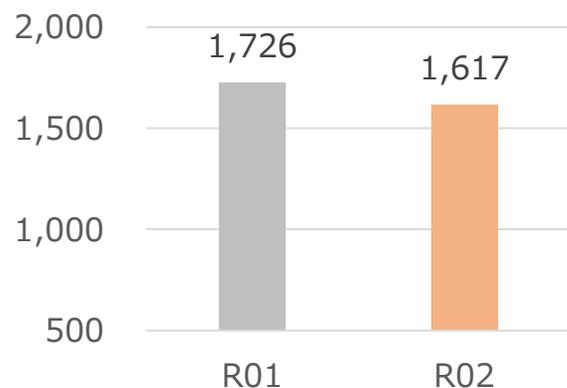
エレクトロニクス事業

TOABO

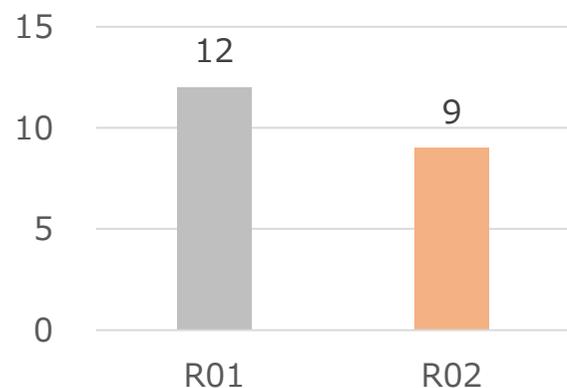
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



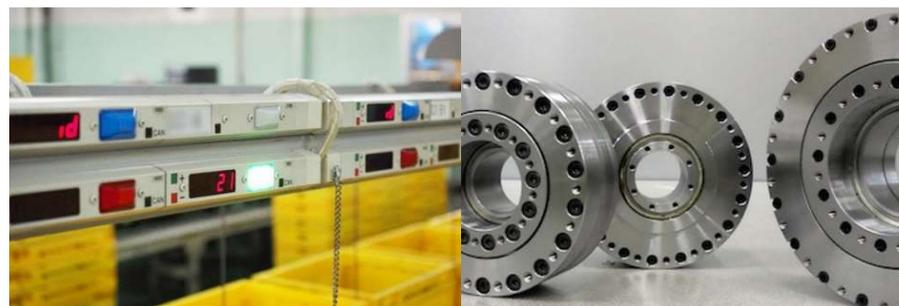
営業利益



売上高	1,617百万円	6.3%減
営業利益	9百万円	22.5%減
営業利益率	0.6%	0.1ポイント減

業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは上期落ち込むも、下期は回復
- ▶ 家電関連商材は消費が伸びず苦戦
- ▶ 人工呼吸器用の半導体電子部品を新規受注



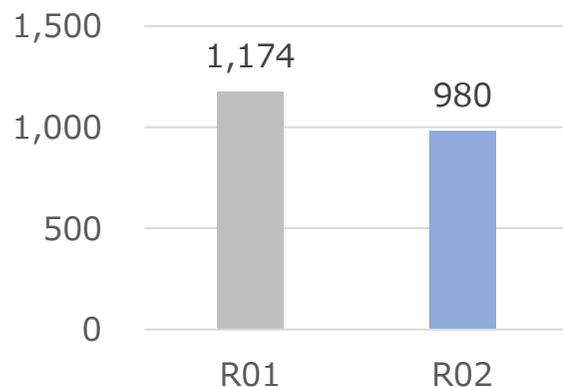
ファインケミカル事業

TOABO

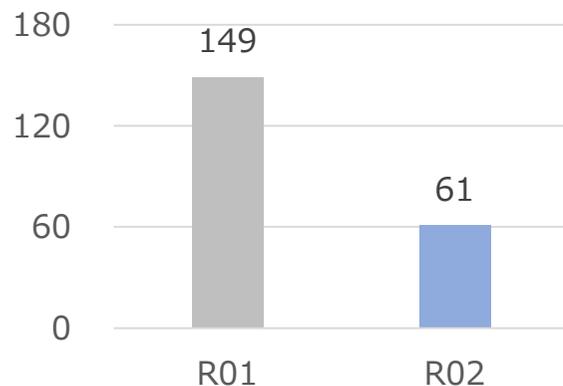
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	980百万円	16.5%減
営業利益	61百万円	58.7%減
営業利益率	6.3%	6.5ポイント減

業績概要

- ▶ 新型コロナウイルスの影響でレーザープリンター用トナー材料や自動車向け機能性材料の需要が大幅に減少、加えてジェネリック医薬品原体の受注低迷も重なり、減収減益



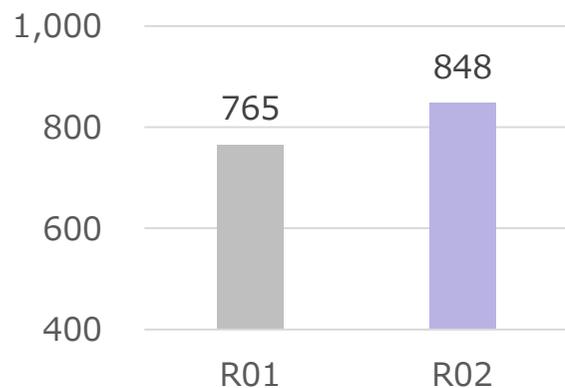
不動産事業

TOABO

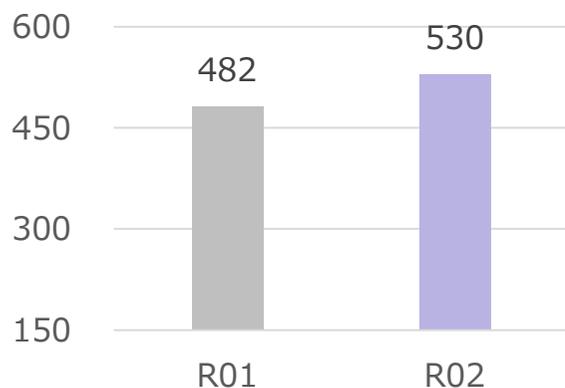
100周年に向かうトーア紡グループ

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	848百万円	10.8%増
営業利益	530百万円	10.0%増
営業利益率	62.5%	0.5ポイント減

業績概要

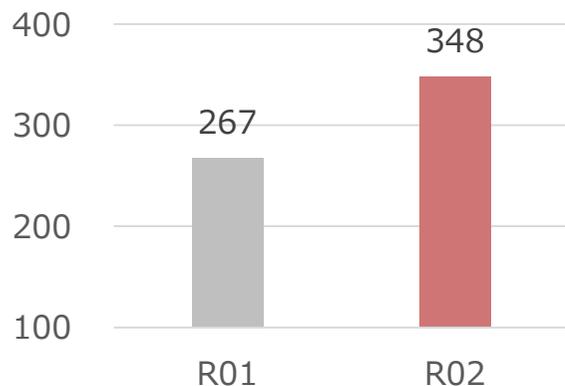
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を若干受けつつも、前年秋に主要ショッピングセンターがリニューアルしたことで収益が改善、オフィスビル賃貸も空室率の改善で順調に推移
佐賀県のゴルフ練習場も来場者増加で増収増益



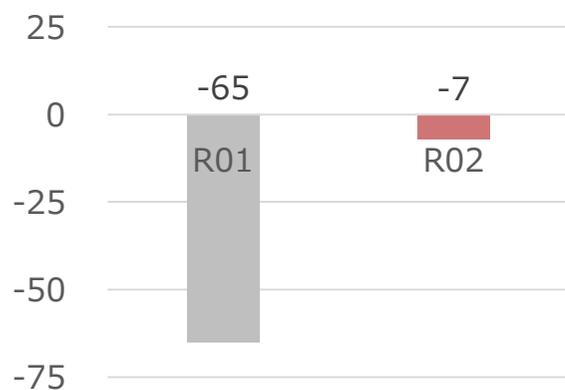
その他の事業

(単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高	348百万円	30.2%増
営業損失	7百万円	前年同期は 営業損失65百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

業績概要

▶ 自動車教習事業

高校生向け新プランが好評で好調に推移し増収増益

▶ ヘルスケア事業

手荒れのしないアルコールジェルの販売が好調だったが、
対面販売方式の化粧品が低調



新型コロナウイルス感染拡大による 当社事業への影響まとめ

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

事業部	当期の主な影響
衣料事業	テレワークの一般化や、郊外量販店はじめ百貨店などの一時休業により、スーツやニット製品など重衣料販売が大幅に落ち込み、毛糸、テキスタイルの売上が激減 中国子会社でも企業活動が一時停止、市況の冷え込みとともに大幅減収
インテリア産業資材事業	自動車関係の売上・生産が大幅減少、生産コストもアップ 中国の現地法人も一時生産ラインが停止し売り上げが減少 展示会の減少により、カーペットおよびカーペット用ポリプロ原綿の売上が減少
エレクトロニクス事業	電動工具の売れ行き不振による売上の減少（下期には回復） 海外での技術指導が出来ないことによる新商品の量産延期 家電関連商材は消費が伸びず売上低迷 人工呼吸器用の半導体電子部品を新規受注
ファインケミカル事業	テレワークの定着でプリンター向け受注が低迷 自動車等の需要減退により、添加剤・触媒の受注も低調 巣ごもり需要により、電子部品向け材料の需要は上向き傾向
不動産事業	事務所需要が減退し、当社所有オフィスビルの空室への入居案内が減少 一部テナントより賃料減額の要望 ゴルフ練習場は来場者数アップで増収
その他事業	在宅時間増加のため化粧品の需要が減退し、化粧品原料の売上が減少 厚労省向け医療用エプロンを新規受注 アルコールジェル等衛生用品が好調

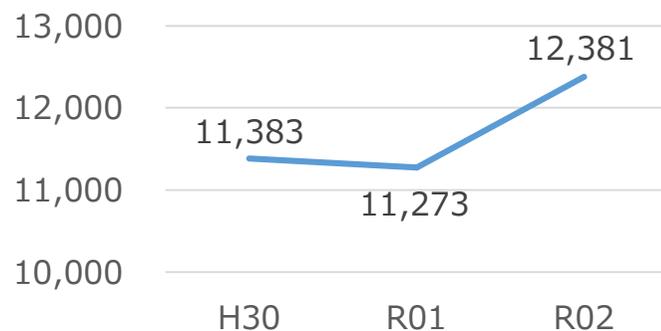
主要指標

TOABO

100周年に向かうトーア紡グループ

(金額：百万円)	平成30年12月期 実績	令和元年12月期 実績	令和2年12月期 実績
総資産	31,266	31,120	31,248
純資産	11,150	11,172	10,822
有利子負債	11,383	11,273	12,381
ネットD/Eレシオ	87.9%	84.6%	89.9%
自己資本比率	35.6%	35.9%	34.6%

有利子負債



自己資本比率



連結貸借対照表 サマリー

TOABO

100周年に向かうトア紡グループ

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和元年12月	令和2年12月	増減
流動資産	8,648	9,533	884
固定資産	22,471	21,715	△756
資産合計	31,120	31,248	128
流動負債	7,122	7,178	55
固定負債	12,825	13,247	422
負債合計	19,947	20,425	477
株主資本	10,357	10,363	6
その他包括利益累計額	806	450	△356
非支配株主持分	8	8	0
純資産合計	11,172	10,822	△349
負債・純資産合計	31,120	31,248	128
(自己資本比率)	35.9%	34.6%	△1.3ポイント

連結キャッシュフロー サマリー

(金額：百万円)	令和元年12月期	令和2年12月期	
純利益	307	286	<u>営業キャッシュフロー</u>
減価償却費	379	374	主な増加要因：
運転資金	380	△246	たな卸資産の減少 177百万円
その他	△19	△482	主な減少要因：
営業CF	1,047	△68	売上債権の増加 229百万円
			仕入債務の減少 194百万円
設備投資	△337	△342	<u>投資キャッシュフロー</u>
その他	△190	143	主な減少要因：
投資CF	△527	△199	有形固定資産の取得による支出 338百万円
長・短期借入金増減	137	1,258	<u>財務キャッシュフロー</u>
社債増減	△250	△150	主な増加要因：
配当金	△177	△178	短期借入金の純増加額 50百万円
その他	△3	△2	長期借入による収入 4,970百万円
財務CF	△293	928	主な減少要因：
			長期借入金の返済による支出 3,760百万円
CF増減	219	663	

アフター（ウィズ）コロナの事業環境

事業部	事業環境
衣料事業	巣ごもり消費に対応した、抗菌・抗ウイルスや快適素材への引き合いが増加 ファッション衣料は引き続き低調であるが、高品質、高付加価値な差別化素材は回復の兆し
インテリア産業資材事業	在宅時間の増加により、身近なインテリア用品の需要が増える 抗菌・抗ウイルス機能が注目され、販売チャンスが出て来る 土木関連では、職人の手配がつけやすくなり発注増に繋がる
エレクトロニクス事業	電動工具や産業機器用の受注が急回復 部材の値上げや調達、中国外注先の生産能力の課題があるものの、前年対比増収の見込み
ファインケミカル事業	生産の国内回帰の流れがより加速 電子材料や医薬農薬向けの各種中間体の受託案件増加が見込まれ、新たなビジネスチャンスが広がる
不動産事業	テレワークの増加でオフィスの縮小移転・分散化の動きがあり、中規模オフィスビルへの需要の高まりが期待できる
その他事業	衛生用品分野で、衛生用品・抗ウイルス対策用品のビジネスチャンスが拡大

令和3年12月期 業績予想

(金額：百万円)	令和元年12月期 実績	令和2年12月期 実績	令和3年12月期 予想	前年同期比 増減率
売上高	18,669	14,752	15,000	1.7%
営業利益	390	270	350	29.4%
営業利益率	2.1%	1.8%	2.3%	0.5ポイント
経常利益	351	297	300	1.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	165	184	170	△7.7%

令和3年12月期は緩やかに回復の見込み

セグメント別業績予想

TOABO

100周年に向かうトア紡グループ

(金額：百万円)	実績			予想			前年同期比増減率		
	令和2年12月期			令和3年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	5,349	68	1.3%	5,400	90	1.7%	1.0%	32.4%	0.4ポイント
インテリア 産業資材事業	5,608	19	0.4%	5,700	90	1.6%	1.6%	373.7%	1.2ポイント
エレクトロ ニクス事業	1,617	9	0.6%	1,640	35	2.1%	1.4%	288.9%	1.5ポイント
フアイ ンケミカル事業	980	61	6.3%	1,000	70	7.0%	2.0%	14.8%	0.7ポイント
不動産事業	848	530	62.5%	870	520	59.8%	2.6%	△1.9%	△2.7ポイント
その他	348	△7	—	390	25	6.4%	12.1%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△411	—	—	△480	—	—	—	—
合計	14,752	270	1.8%	15,000	350	2.3%	1.7%	29.6%	0.5ポイント

本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。